

第一五回村落社会研究会大会

プログラム

第一日 (一〇月五日(木))

開会 午前一〇時 愛知大学(豊橋市町畑町)

自由課題報告・討議 午前一〇時半～午後三時半

一、日系農民とブラジル社会 藤村美和子(東教大)

二、村落社会から地方都市の地元社会へ——東京湾における澱粉製造業の展開——(千葉県五田保の暮末と明治期の事例研究)

大沢 敏子

三、末子相続慣行について——カトリック農家を中心として——

(長崎県北松浦郡田平町) 内藤莞爾・土居平(九大)

四、西ドイツにおける村落改造——Dorfsanierungと

Dorfneuerung—— 高山隆三(慶大)

総会・懇親会 午後七時～九時 伊良湖国民休暇村(しおさい荘)

第二日 (一〇月六日(金))

共通課題報告・討議 午前九時～午後四時

共通課題「村落構造の変化に対する推進力」議長 小池基之(慶大)

一、共通課題の趣旨について 小池基之(慶大)

二、暮末における商品経済の発展と村落構造の変化(仮題)

守屋嘉美(東北学院大)

三、大正期を中心とする一漁村の再編とその推進力——石川県七尾

市北大呑地区旧庵村の場合——(仮題) 中野卓(東教大)

四、畑地灌漑事業に対する村落の対応——鹿児島県大隅半島笠原台

地の場合—— 木下諒治(鹿児島大)

五、戦後農村社会の構造変化とその諸条件について(仮題)

島崎稔(中央大)

六、共同討議